

島本弘子 シャンソンリサイタル

～愛と人生を語り謳う～



ピアノ：にしかわ まこと

2023.4/9(日)

15:00 開演 (14:30 開場)

宇部市文化会館 3F 文化ホール

★演奏予定曲

ア・パリ	カミニート	ピギャール
今、今、今	逝きし魂	脱走兵
おゝ我が人生	帰り来ぬ青春	涙
四つの手紙	人生は美しい	リヨン駅
愛しかない時	出発(たびだち)	他

※曲目は都合により変更になる場合があります

※新型コロナウイルス感染防止の為、ご協力をお願いいたします。

①来館時には必ずマスクの着用をお願いいたします。

②体調の悪い方、熱のある方は入場をお控えください。

★入場料・・・【全席指定】一般 4,000 円／大学生以下 2,000 円（当日いずれも 500 円高）

★会員になると年 6 回のコンサートに会費のみで参加できます（月会費は一般 1,500 円、大学生以下 500 円）

★【チケット取扱】宇部音鑑・宇部市文化会館

★チケット発売：会員・・・2/25(土)より、一般・・・3/4(土)より

★主催：宇部音鑑（☎34-2384）

★後援：宇部市・（一財）宇部市文化創造財団・宇部日報社・エフエムきらら

プロフィール

島本弘子

京都生まれ。京都教育大学(旧京都学芸大学)に入学するが、新劇への夢をあきらめきれずに中退し 20 歳で上京。舞台芸術学院卒業後、劇団「新劇場」で活躍中にシャンソンと出会い「三分間のドラマ」と言われるその奥深さに感動、シャンソン歌手として人生を賭ける決意を 30 歳の時にする。故宇井あきら氏に師事。1975 年東京厚生年金ホールで第一回リサイタルを開き、以後各地でのリサイタルや労音主催のコンサートを催す。現在、東京では 5 月(小金井 宮地楽器大ホール)、10 月(よみうり大手町ホール)のリサイタル、京都では毎年 11 月に都ホテル京都八条でディナーショーを開催している。



「シャンソンの魅力はメロディーにもありますが、詩の素晴らしさにあると思います。詩の内容をより分かりやすく伝えるために日本語で歌い、原詩を大切に“人生を、愛を、自由を、人間らしく生きる喜び”をテーマに歌い続けています」と語る。1994 年秋のリサイタルで文化庁芸術祭賞を受賞(越路吹雪氏、深緑夏代氏に続きシャンソン界では3人目の受賞です)

にしかわ まこと<ピアノ>

1956 年大阪に生まれる。5 歳よりクラシックピアノのレッスンを始める。大阪教育大学特設課程音楽科ピアノ専攻に在学時より、かねてから興味のあったポピュラー音楽の研修を重ね、同大学を中退後本格的な演奏活動に入る。現在は主にシャンソンの分野において、伴奏ピアニストとして演奏に携わる傍ら、編曲・録音などの活動も行っている。関西新人演奏会出演を皮切りに、大阪リーガロイヤルホテル内の「セラー・バー」にレギュラーピアニストとして 6 年間出演。またその後ホテル日航大阪内「ジェット・ストリーム」に出演後、故立川清登、ボニー・ジャックス、伊東ゆかり、北村英治、紙風船、坂本スミ子各氏のサポートメンバーのピアニストとして活躍する。現在は、荻窪「リラ」、神楽坂「オ・シャンゼリゼ」、銀座「ボン・ボン」、名古屋「プティ・パリ」、等のライブハウスにおいてピアニストとして出演中である。また「ダ・ボール」「ユイ・キューエウ」「ラ・スイット」「ネオ・エコール・アバン」他故吉川肇氏より引き継いだシャンソン教室を主宰している。また、大阪音楽大学音楽専攻課ポピュラーピアノ専攻の課程において、この課程の創立より 1998 年度まで講師として後進の指導にもあたっていた。また和歌山県率南紀支援学校におけるコンサートも 26 年間続いている。藤村るり子、福井直俊の両氏に師事。



あなたも宇部音鑑の会員になりませんか！

♪会員になると

毎月の会費だけで年 6 回の音楽会(例会)に参加でき、指定席を優先的に取ることができます。

♪音鑑では…

例会は年 6 回、ジャンルにかかわらず、みんなで楽しめる内容のものを会員の意見に基づいて決めています。例会終了後の食事交流会では、出演者と身近に触れ合うことができます。レクリエーションなど、会員の親睦行事も行っています。

♪入会するには

どなたでも入会できます。「入会申込書」に記入の上、入会金と 3 カ月の会費を添えて音鑑事務所までお申し込みください。

◆会員は 6 カ月以上継続することが原則です

	入会金	月会費
一 般	1,500 円	1,500 円
大学生以下	1,000 円	500 円